

美術館のある街・記憶・風景

日常記憶地図で見る 50 年

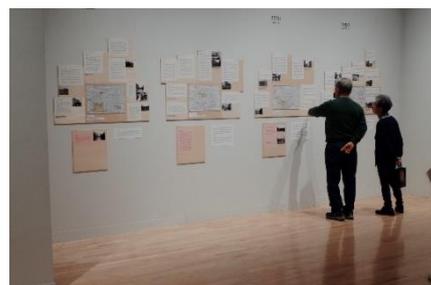
会期：2021年4月10日（土）－6月27日（日）

会場：1F オープンギャラリー

新美術館では、「交流スペース」の西側に「オープンギャラリー」という小さなスペースを設けました。初回の展覧会となる本展では、当館が建つ善光寺周辺の歴史ある街や、この地域に暮らす人々と当館のこれまでの関係性をみつめなおすため、人々の日常生活や場所にまつわる記憶についてインタビューし、その土地の特性や歴史を見出すことを試みるメソッド「日常記憶地図」を各地で展開するサトウアヤコを迎えました。

人の記憶を通して街を見ることによって、今まで気づかなかった街のさまざまな一面を発見し、あなたなりのこの街の姿を心の中に浮かび上がらせることができるでしょう。

（※日常記憶地図・・・2013年にサトウアヤコが考案した、地図を使って個人的な記憶を想起させるメソッド。地図に「よく行く場所/道」をなぞり描きしてもらい、その理由や習慣を一つずつ聞くことで、サトウが「弱い記憶」と呼ぶ、無意識に近い場所にまつわる記憶やエピソードを取り出すもの。あわせて、愛着のある場所や当時のその人の世界の範囲も問いかける。）



「MOT サテライト 2019 ひろがる地図」展
（2019年東京都現代美術館）の展示風景（撮影：サトウアヤコ）



地図（イメージ）

展覧会概要

『美術館のある街・記憶・風景 日常記憶地図で見る 50年』

会 期： 2021年4月10日（土）～6月27日（日）

会 場： 長野県立美術館 オープンギャラリー

主 催： 長野県、長野県立美術館

展覧会担当： 霜田英子・竹花藍子

観 覧 料： 無料



美術館のある街・記憶・風景 日常記憶地図で見る 50年
展覧会チラシ

みどころ

- 美術館は全面改築となりましたが、唯一変わらなかったこの街、地域に目を向けました。
- この街をもっと知りたい、美術館のことを知ってほしい、という相互理解を大切に考えています。
- 今後このオープンギャラリーで、美術を介して積極的に社会とかがわって参ります。



サトウアヤコ

建築・情報工学を学び、対話を主としたリサーチやコンセプトデザインなどを行う。2010年から「mogu book」、「本棚旅行」、「カード・ダイアログ」など複数のプロジェクトを継続しながら、媒介的なコミュニケーションや言語化のプロセスについて探求している。

関連イベント（要申込・無料）

(1) アーティストトーク

サトウアヤコが《日常記憶地図・長野編》制作の過程や、美術館や善光寺周辺を起点に市街地をリサーチして感じた街の特徴についてお話しします。

日 時：2021年5月22日（土）13：30～15：00

会 場：1階 交流スペース

(2) ワークショップ

地図と記憶から思い起こされる景色。本作の核となるメソッド、「日常記憶地図」を実際に体験していただけます。参加者それぞれの場所の記憶を、少しだけシェアするワークショップです。

日 時：2021年5月23日（日）[長野市内在住の方向け]

2021年6月12日（土）[長野市外在住の方向け]

各 13：30～16：30

会 場：3階 レセプションルーム

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、イベントの開催を中止もしくは延期する場合があります。

同時開催

●新美術館みんなのアートプロジェクト ふれてみて

会期：2021.4.10（土）—8.15（日）会場：コレクション展示室・アトラボ

●新美術館みんなのアートプロジェクト Something there is that doesn't love a wall—榎原澄人×ユーフラテス

会期：2021.4.10（土）—8.15（日）会場：交流スペース

●長野県立美術館完成記念 未来につなぐ～新美術館でよみがえる世界の至宝 東京藝術大学 スーパークローン文化財展

会期：2021.4.10（土）—6.6（日）会場：展示室1・2・3

お問い合わせ・資料リクエスト先

長野県信濃美術館（長野県立美術館）広報・マーケティング室

TEL：026-232-0052 / FAX：026-232-0050 / E-MAIL：npsam@npsam.com